

クラブ例会の意義とメイクアップ

1 例会出席の大切さ ～ロータリーの例会は人生の道場～

ロータリーでは毎週1回決まった曜日と時刻に例会を開きますが、例会の所要時間は日本では概ね1時間です。ロータリーではこの例会への出席を最も重要視し、その規則も非常に厳格です。①ホームクラブに半期30%以上出席 ②メイクアップを含めて半期50%以上出席 ③連続4回欠席してはならない、といった出席規定があります。この規定は次のように読み替えると良いでしょう。①ホームクラブに毎週必ず出席する②どうしてもホームクラブに出席できないときは、必ずメイクアップをすることです。

この規定は、会員身分を保証するための最低条件に過ぎず、ロータリー運動が望む会員像は、毎例会、欠かさずホームクラブに出席するロータリアンの姿だからです。

例会の目的は、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図ることにあり、その結果として奉仕の心が育まれてくるのです。自己改善は終生続けられなければなりませんから、ロータリアンには定年はないし、ロータリー運動には終結もありません。これが例会出席がロータリーライフの前提となる所以なのです。米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。

お互いが切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練の場でなければなりませんから、例会運営に当る者は、事業に従事すべき貴重な時間を割いて例会に参加する会員に、それに値するメリットを与える義務があります。限られた時間の中で、如何に有益な情報を効果的に提供するかを真剣に考えて、実行しなければなりません。会長の時間、議事、各種の報告、卓話、そのひとつひとつがロータリー運動の質を高め、参加者の心に深い感銘を与える内容であってこそ、初めて例会出席の意義が満たされるのです。

2 メイクアップ (Make-Up)

ロータリアンには例会に出席する義務があります。ホームクラブに出席できないときには、他のクラブの例会やロータリーのその他の会合（地区大会、インターシティーミーティング、その他の地区の会議など）に出席するメイクアップ (Make-Up) という方法で、通常の例会欠席を補うことができます。また、所属クラブの奉仕プロジェクト及びその他の行事や活動に少なくとも12時間参加することによっても出席となります。

最近ではインターネットクラブ (Eクラブ) の誕生によって、IT環境が整った場所では、いつでもどこにいてもメイクアップができるようになりました。例会に欠席の場合、その例会の前14日、または後14日以内に、他のどこかのロータリークラブの例会、またはクラブ理事会によって承認されたクラブの奉仕プロジェクトに出席することで、その欠席を補填することができます。詳しくはクラブ定款第9条（出席）を参照してください。

★例会はいつ、どこで開催されているのでしょうか？

近隣のクラブが、いつ、どこで例会を開催しているかはご存知だと思います。例会の時間や場所の変更も事前に届きます。でも、出張先などで、例会を探すのはどうしたらいいのでしょうか？『ロータリーの友』誌の3月号と9月号に挟み込んである「例会一覧表」や地区ホームページなどをご利用ください。ロータリアンなら、いつ、どこのクラブの例会に出席しても歓迎されます。各クラブではビジター（メイクアップのために訪問する人のこと）を見込んで、席や食事の準備をしていますので、事前に電話などで連絡してから訪問すること

をお勧めします。初めて訪問するクラブの場合でも、相手が待っていてくださるので、心細い思いをすることもありません。

★例会場に着いたら何をしますか？

他クラブの例会に行ったら、まず受付に行きます。ビジターは受付に行き「ビジターフィー」（訪問費）を支払い、名札をつくってもらいます。例会時の食事代が主なものです。

受付を済ませると、クラブの担当者が席に案内してくれます。また、ニコニコ BOX に寄付を入れるかどうかは自由です。もちろん金額も自由です。でも、どのくらいの金額を入れればいいのか、迷ったり、悩んだりした場合には、受付の担当者や、案内をしてくださる会員に、そっと聞いてみてください。同じロータリアン同士ですから、親切に教えてくださることと思います。訪問先のクラブ幹事からは「訪問ロータリアン報告用紙」（一般に「メイクアップカード」と言われます）に、メイクアップの旨が記入され、用紙はその場で手渡されたり、ホームクラブに送付されたりします。

（文責 丹治正博）